



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



Weekly Reports 2024-2025

2024-25年度 RI会長:ステファニー・A・アーチック地区ガバナー:矢坂 誠徳
加古川ロータリークラブ会長:大庫 隆夫 / 幹事:山本 亜也夫
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和7年4月15日(火) No. 36



▲会長挨拶



▲金 博清新会員、藤田光人新会員



▲地区より
芝本会員に委嘱状



▲松尾次年度会長挨拶



▲次年度委員会 I
司会の船原次年度幹事

会長の時間

会長 大庫 隆夫

第三十三回 我が青春の新嘉坡

平成元年から平成七年まで新嘉坡共和国に住んでいました。新嘉坡を親日国、綺麗な都市国家と気軽に考える方も居られますが、住んでみたら大違い、戦争中の日本軍による弾圧を経験した方々も多く居られ、日本に対して複雑な想いを持つ方々の住む国なのです。

一九九〇年、ワンピープル ワンネーション ワンシンガポールと大きな声で歌いました。日本人小学校の式典でも日本の国歌斉唱の前に必ず新嘉坡国家「マジュラ シンガプーラ(進めシンガポール)」を斉唱しました。国を纏めるあらゆる努力をせねば生き残れない小さな国でした。三十五年後の今、新嘉坡の一人当たりGDPは九万ドル、日本のそれは三万三千ドル、新嘉坡は日本より遥かにお金持ち国になったのです。

新嘉坡の紙幣には公用語であるマレー語(国語)、華語、タミール語、英語の四言語で国名が記載されています。地下鉄の建設により龍脈が分断されることを危惧したリー首相が風水師から国民全てが「八卦鏡」を玄関に飾ると良いとアドバイスされたとか。多民族多宗教国家である新嘉坡が、宗教を超えて国民全てに八角形を持たせる方法として、一ドル紙幣を硬貨にして八角形を刻印して流通させたとか。

第二次世界大戦中には日本軍に占領され、戦後はマレーシアとの軋轢を経て、日本が平和な東京オリンピックで沸き返っていたころ、一九六五年にマレーシア連邦から分離、都市国家・新嘉坡として独立しました。



アジア最小の国は生き残りを賭けて経済発展に必死の努力をしました。タックスヘブンを打ち出し企業を誘致、観光の為にFIの誘致、カジノの開設許可等々を続け、今やアジアで最も裕福な国となったのです。教育の厳しさは日本の及ぶところではありません。色白児童は新嘉坡人、色黒児童は日本人でした。この国の努力を我等は見習わねばなりません。Dr・マハティール提唱の「ルックイースト」は昔の話、ジミー提唱は「ルックサウス」シンガポールを見習おう！

幹事報告

- 1) 本日入会の金 ^{こん ひろ き}博清会員の配属は親睦活動委員会と米山記念奨学会委員会で、
^{ふじたみつひと}藤田光人会員の配属は会場監督委員会と青少年奉仕委員会となります。
- 2) BOXにハイライトよねやまを入れております。
- 3) 加古川みどりの会から令和 7 年度花と緑のフェスティバルの案内と
ハリマ化成さんの記事が神戸新聞に掲載されていたので回覧いたします。
- 4) 委員会の活動報告書「一年を省みて」の提出依頼をBOX配布しております。
まだ事業が終わっていない委員会もありますが、各委員長一旦5/20(火)までにご提出を宜しくお願いいたします。

ニコニコ



- | | | | |
|---|---|---|--|
| 省 | 略 | ☺ | 松尾さん、次年度委員会よろしくお願いします。 |
| 省 | 略 | ☺ | ^{こん ひろ き} 金 博清会員、 ^{ふじたみつひと} 藤田光人会員、ようこそ加古川ロータリークラブへ。
入会おめでとうございます。よろしくお願いします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 金さん、藤田さん、加古川RC入会おめでとうございます。
よろしくお願いします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 本日、次年度委員会 I です。よろしくお願いします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 古庄さん、先達てはお世話になりました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 次年度委員会 I ですが、よろしくお願い致します。 |
| 省 | 略 | ☺ | 金さん、藤田さん、加古川RC入会おめでとうございます。
これから宜しくお願い致します。 |
| 省 | 略 | ☺ | 藤田さん、金さんの入会を祝し。 |
| 省 | 略 | ☺ | 古庄さん、甲子園最高でした。有難うございました!! |
| 省 | 略 | ☺ | 古庄さん、先日は大変お世話になりました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 大阪万博開幕日9時入場チケットをロータリーで入手させて頂き、
7人全員楽しんでできました。感謝です。 |
| 省 | 略 | ☺ | 藤田さん、金さん、加古川RCへようこそ。 |
| 省 | 略 | ☺ | 誕生日のお祝いありがとうございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 本日より入会させて頂きます。よろしくお願いします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 本日からお世話になります。どうぞ宜しくお願いいたします。 |
| 省 | 略 | ☺ | お花いただきます。 |

ニコニコ パートⅡ リクエスト&アンサー

R↓ 省 略 ☺ トランプさんはインサイダー取引ちやいますのん？
A↑ 省 略 ☺ 証券会社としてインサイダーとは言えませんが、私も同じ考えです。

以上18件 ¥24,000-

本年度累計¥1,827,000-

出席委員会

☆ 今 週 会員数73名 出席44名 出席免除10名 欠席19名
☆ 欠 席 者 省略
☆ 前 々 週 会員数71名 出席51名 出席免除14名 欠席6名

親睦活動委員会

例会場当番

4月15日(火) 高見・鈴木

4月22日(火) 中田・橘

プログラム委員会

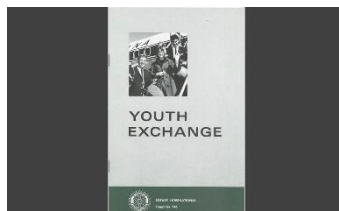
本日4月15日(火)	4月22日(火)	4月29日(火)	5月6日(火)
次年度委員会Ⅰ	次年度委員会Ⅱ	例会取りやめ (定款第7条第1節 (d)(1))	例会取りやめ (定款第7条第1節 (d)(1))

ロータリー青少年交換：認定までの道のり

ロータリー青少年交換は1975年にロータリーの活動として正式に認められましたが、ロータリー会員は1920年代から交換活動を促進してきました。数十年にわたる会員の努力により、現在では毎年平均7,500人が参加する交換プログラムに成長しました。

初期のコンセプト

1927年、国際ロータリーは、国際的な青少年交換に関する二つの提案を受けました。一つはロータリアンの子どもたちの交換プログラムを提案するもので、もう一つは職業上の目的に焦点を当てた交換プログラムを提案するものでした。これらの提案は、青少年の旅行を伴うその他の提案とともに、特別委員会で検討され、約1年後、委員会はこのような交換プログラムの多くの利点を認めつつ、国際ロータリーがその運営を行うべきではないと推奨しました。



ロータリーは、各地区での交換プログラムの発展を支援するため、1969年に『Youth Exchange』を発行

1928年6月、理事会も同様の結論に達しました。理事会は、国際ロータリーによる交換プログラムの創設や、それを支援するための各国委員会の設置には賛成しませんでした。しかし、それは、ロータリークラブが独自に交換プログラムを組織することを妨げるものではありませんでした。

そのわずか1ヶ月後、理事会は見解を一部変更し、欧州のロータリアンによる若者向けの職業交換プログラムの取り組みを「道義的に承認」し、スイスのチューリッヒにある国際ロータリー事務局が関心のある欧州内のクラブに支援を提供できることに同意しました。



2023年、ブラジルにあるホストファミリー宅でランチを作るインドからのロータリー青少年交換学生



2023年のロータリー青少年交換で、それぞれ米国とアルゼンチンからブラジルに留学した交換学生

交換プログラムへの関心の高まりを受け、デンマークのコペンハーゲン・ロータリークラブは、1929年6月に青少年交換に関する国際会議を開催しました。出席者は、英国、フランス、ドイツ、米国を含む12カ国から集まりました。

国際ロータリーは、このような交換プログラムの中央管理に積極的に関わることに消極的な姿勢を崩しませんでした。交換プログラムは地域社会で取り組む価値のあるものであることを引き続き会員に伝えました。クラブは、「国際奉仕および少年奉仕」(International Service and Boys Work)委員会に管理業務を任せ、交換プログラムに関与するほかの機関と協力することが奨励されました。

おそらく、この世界中の異国間の青少年交換プログラムから得られる最大の利益は、国際平和、親善、相互理解の促進と発展である。青少年交換プログラムを通じて築かれる個々の友情は、国際的な友好関係を築く上での確実な成果となるであろう

— 委員会報告(1928年)

プログラムが少しずつ形に

1966年1月、理事会は青少年交換プログラムを暫定的に支持しましたが、正式な承認には至りませんでした。すでに世界各地で実施されていた青少年交換プログラムに関する世界的な調査が計画されました。1960年代終了時までには、理事会は少なくとも一つの多地区合同交換プログラムを承認し、ロータリーは国際交換のガイドラインを記載したパンフレットを発行しました。

正式な認定

国際ロータリーがすでにこの活動に多少関与していることに留意し、1974年、米国の二つのロータリークラブは、ロータリーのガバナンス機構である規定審議会に、国際学生交換のプログラムを「国際ロータリーの活動」として設立することを要請しました。



スイス・ジュネーブで開催された国連でのロータリーデー(2017年)に参加したロータリー青少年交換学生



2005年、米国オハイオ州トレドの小児病院でボランティア活動を行う、ボスニア・ヘルツェゴビナからのロータリー青少年交換学生

この提案は可決され、1975年1月に発効することとなりました。とはいえ、理事会は、いかなるプログラムもRIの活動として正式に認定することは異例であると指摘しました。特に、理事会は、「国際ロータリー」(Rotary International)という名称が地元のプログラムと併用されることについて懸念を示しました。『The Rotarian』誌は、同年の4月号で理事会の決定を要約し、「国際ロータリーの活動」として認定されることは、「ロータリークラブの活動」として認定されること意味すると説明しました。

国際ロータリーは交換活動を推進し、プログラムのスポンサーと参加者にガイダンスを提供しますが、ロータリー青少年交換は現在もロータリー地区とロータリークラブによって運営されています。ロータリー会員と非会員を問わず、数え切れないほどの人たちの献身とリーダーシップが、このユニークなプログラムを成功に導いています。

— 2025年3月